

マルヒロかわら版

2023年
12月号

発行者
マルヒロ不動産

～ 年末を万全に！インフルエンザ対策！ ～

今年もいよいよ師走となり、年末を迎えようとしています。
ここ最近、ニュースでもご存じかと思いますが、インフルエンザが大流行の兆しの様相です。

2023年最後の「かわら版」は、その傾向と対策をピックアップします。

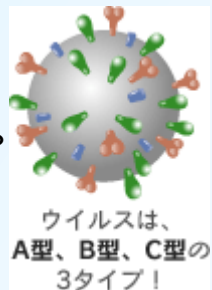
～ 既に警報レベルに達している模様です ～

ここ名古屋市のホームページによると、2023年の第47週
(11月20日から11月26日)の市内70定点からのインフルエンザ
患者報告数は1796人。

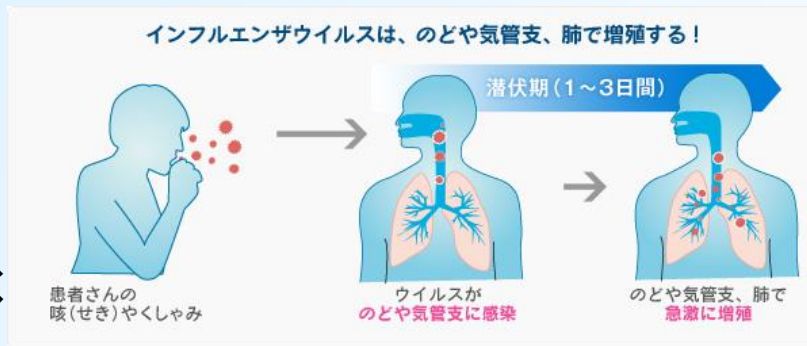
定点当たり患者報告数は**25.66人**で前週比**1.07倍**に増加しました。

市内の定点当たり患者報告数が、西区を始め市内6区では国立感染症
研究所が定める**警報の指標である「30」を上回っています。**

愛知県では**11月9日に“インフルエンザ警報が発令”**されており、
「A/H3亜型」、「A/H1pdm09亜型」が検出されています。

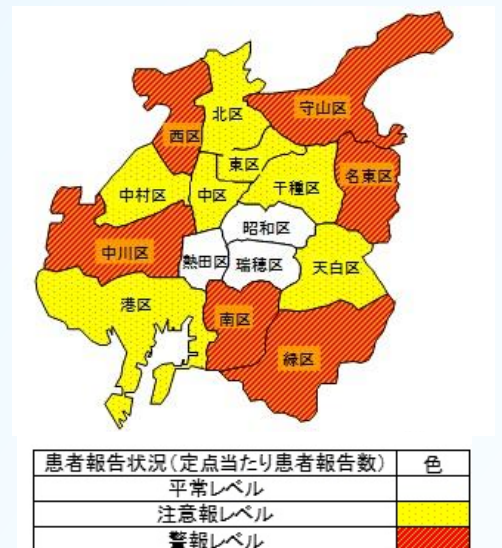
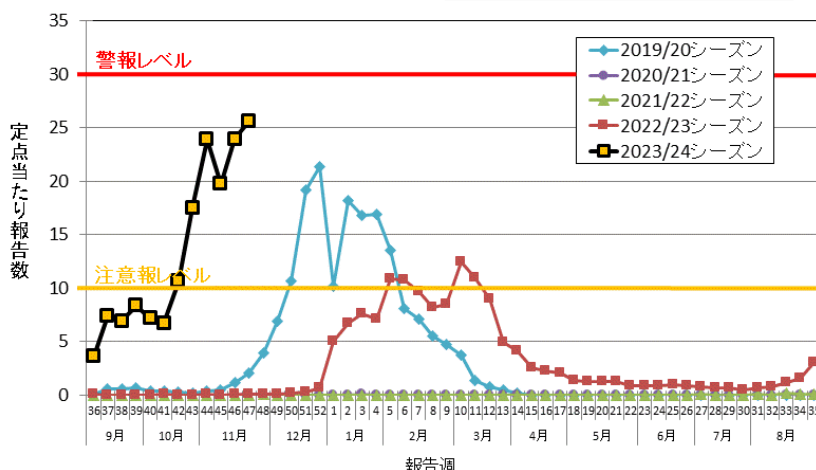


名古屋市において集団かぜ
(インフルエンザ様疾患)による
学級閉鎖等の措置が実施された
施設数は、令和5年9月4日
以降**730施設**を超えており、
過去の同時期と比較して非常に多く
報告されています。



インフルエンザ患者報告数(名古屋市)

2023年第47週(2023年11月26日)まで
名古屋市の定点医療機関数:70



～ インフルエンザ対策のポイント ～

インフルエンザは感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。

1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。

高齢者や乳幼児などは、重症化することがあるので、特に注意が必要となります。



<名古屋市のホームページより>

インフルエンザウイルスは増殖のスピードが速いため、症状が急速に進行します。したがって、具合が悪くなったら、単なるかぜだと軽く考えずに、早めに医療機関を受診して、発症後すぐに適切な治療を開始することが重要とのこと。

そして自分の体を守り、他の人にうつさないためにも、下記の生活上のポイントがあります。

- 安静にして休養をとり、特に睡眠を十分にとる。
- お茶やジュース、スープなど、自分が飲みたいもので構わないので、十分な水分補給を忘れずにする。
- 周りの人に感染させないためにも、マスクを着用。
- 人ごみや繁華街への外出を控え、無理して学校や職場などに行かない。 など

～今年もお世話になりました！～

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何かとお役に立てます！

体調を万全に
良いお年をお迎え下さい

～土地・建物のよろず屋～

マルヒロ不動産(株)

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628



<https://maruhiro2103.co.jp>